

インターバンクの声（2016年2月10日）

今年一年を見通せば、まだまだ円高が進むと見ている人たちの中にも、当面は115円がドル円相場のドル下値との見方も少なくなかった。イエレンFRB議長の議会証言を前に、昨日は多額の115円ストライクのオプション期日になっているとの情報も流れたが、ニューヨーク市場を待たずに、アジア時間にあっさり1年3カ月ぶりに114円20銭台まで円買いが進んでしまった。先週末の米雇用統計で失業率の低下や賃金の上昇が確認されたことで、3月ないし4月の利上げは継続されるとの見方に戻りかけたが、アジア株、欧米株が連日値下がりが続くような地合いでは、やはり春の利上げは見送られる可能性が高いのかも知れない。決算の悪かった欧州銀行の経営不安などの新しい材料も飛び出す中、何故ユーロが買われなければならないのかと言った素朴な疑問もあり、円が買われ続けるのは明らかにやり過ぎだとの声も強まっている。115円台に辛うじて戻してはいるが、昨日の安値114円前半を割り込めば110円前後まで明確なサポートともない。イエレン議長の一言でもう一段二段の円高になるかも知れない。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。